

科目区分	専門教育科目	科目名	幼児音楽（指導法）		科目コード	17Y620	担当者	白石 景一、中澤 伸元			
対象学生	幼児教育学科1年生	学期区分	通年	単位数	2	卒業要件	選択				
						免許・資格要件	幼稚園教諭選択必修、保育士選択必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
音楽を通じて子どもを保育・教育する上で最低必要と思われる音楽的基礎知識・技能・指導技術を指導法の観点から習得する。発声の基礎と子どもの歌の習得。						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	読譜の基礎技能、音楽の基礎的な楽典が理解できる。					○	○	◎	◎	○	△
2.	発声の基礎を元に子どもの歌を楽しく歌うことができる。					○	○	◎	◎	○	△
3.	和声学やコード伴奏の基礎が理解できる。					○	○	◎	◎	○	△
4.	子どもの音楽教育について理解する。					○	○	◎	◎	○	△
5.	音楽を媒体とした遊びのなかで指導法を学び、理解する。					○	○	◎	◎	○	△
授業方法						成績評価の方法と割合					
音楽的基礎能力は知識と技能が両輪の関係にあり、継続的積み重ねが肝要である。したがって、何回目にどの項目・内容と規定されるものではない。受講生となるべくインタラクティブに授業を展開しなるべく添削をする機会を多く持つよう努める。						提出物（15%） 受講態度（15%） 定期試験（70%）					
準備学修						課題等への対応					
幼児教育学科専門科目「子どもの歌と伴奏法」との関係性が深い科目であるため、子どもの歌や保育現場での生活の歌、コード伴奏法、各自のエチュードなどの継続した練習（45時間）が望まれる。						ほぼ、毎時間5線紙による課題提出その場で添削する。					
授業計画											
第1回	幼児音楽指導法について1年間の授業構成と内容について説明				第16回	幼児の発達と音楽 子どもの歌表現					
第2回	基礎的な楽典 ソルフェージュ 読譜の基礎				第17回	幼児の音楽的な表現活動 子どもの歌表現					
第3回	基礎的な楽典 ソルフェージュ 読譜の基礎				第18回	音楽的指導の基本的考え方 子どもの歌表現					
第4回	基礎的な楽典 ソルフェージュ 読譜の基礎				第19回	指導計画の立案と考え方 子どもの歌表現					
第5回	基礎的な楽典 子どもの歌の伴奏法 ソルフェージュ				第20回	音楽的表現活動の事例 子どもの歌表現					
第6回	基礎的な楽典 子どもの歌の伴奏法 ソルフェージュ				第21回	わらべうた 子どもの歌表現					
第7回	基礎的な楽典 子どもの歌の伴奏法 ソルフェージュ				第22回	オルフの音楽教育 子どもの歌表現					
第8回	基礎的な楽典 調性 ソルフェージュ				第23回	コダーイの音楽教育 子どもの歌表現					
第9回	基礎的な楽典 調性 ソルフェージュ				第24回	ダルクロースの音楽教育 子どもの歌表現					
第10回	基礎的な楽典 ソルフェージュ				第25回	創造的音楽学習の特徴と意義 子どもの歌表現					
第11回	基礎的な楽典 和音 ソルフェージュ				第26回	「おんがくづくり」の指導法 子どもの歌表現					
第12回	基礎的な楽典 コードの基礎				第27回	簡易楽器の基礎知識・技能と編曲の考え方 子どもの歌表現					
第13回	基礎的な楽典 カデンツ				第28回	合奏表現活動 子どもの歌表現					
第14回	基礎的な楽典				第29回	幼児の音楽教育法のまとめ① 子どもの歌表現					
第15回	楽典のまとめと定期試験について				第30回	幼児の音楽教育法のまとめ② 子どもの歌表現					
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
こどものうた200 チャイルド社 新・幼児音楽教育 朝日出版社						「子どもの歌と伴奏法」「保育と音楽表現」の基礎として、教育実習・保育実習の準備として、なにより良き保育者を目指して一緒に勉強しましょう。					